

➤ 2日 土曜

詩篇



43:1 神よ私のためにさばいてください。私の訴えを取り上げ不敬虔な民の言い分を退けてください。欺きと不正の人から私を助け出してください。

43:2 あなたは私の力の神であられるからです。なぜあなたは私を退けられたのですか。なぜ私は敵の虐げに嘆いて歩き回るのですか。

43:3 どうかあなたの光とまことを送りそれらが私を導くようにしてください。あなたの聖なる山あなたの住まいへとそれらが私を連れて行きますように。

43:4 こうして私は神の祭壇に私の最も喜びとする神のみもとに行き豎琴に合わせてあなたをほめたたえます。神よ私の神よ。

43:5 わがたましいよなぜおまえはうなだれているのか。なぜ私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の救い私の神を。

詩人は苦しみの中で神に求めています。それは単に救ってくださいというだけではなく、神様の正義のさばきを求めています。そのように神様の義が自分に味方してくださるのだという確信は、強い信仰を生み出します。もちろん憐みを求めることもできますが、日々の歩みの中で正しく生きるなら、そのように義を求めて力強い求めができるのです。

それは単に個人の救いだけではなく、主の正義がこの世にもたらせれるという、すばらしいみわざを求めているのです。その結果、「こうして…ほめたえましょう」と、その信仰が引き上げられるのです。絶望したままでは何も生まれません。主を見上げるときに希望が生まれます。またこのように苦しみがあるからこそ、私たちのような信仰の弱い者が主に向くことができるということもできます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

